

レインフォレスト・アライアンス2020認証プログラムとは？

責任の共有

さらに公平なサプライチェーンの実現

レインフォレスト・アライアンスでは、持続可能性を長きにわたる旅と捉えています。また、各産業を真に持続可能にするためには、それぞれのサプライチェーンが役割を担っていると考えています。包括的なサプライチェーンとは、その価値とリスクの両方が共有されるものです。そのためには生産者の経費と投資が保証され、より持続可能な農業や生産の為の努力が報われるシステムへの変化が求められます。

このビジョンを実現するために2020持続可能な農業基準では、レインフォレスト・アライアンス認証付き作物のバイヤーに対する二つの要件「サステナビリティ差額」と「サステナビリティ投資」についてふられています。

「サステナビリティ差額」と「サステナビリティ投資」とは何か？

サステナビリティ差額

サステナビリティ差額は認証生産者に付加的で必ず支給される現金で、作物の市場価格に上乘せされるものです。サステナビリティ差額は定額ではありません。可能な限り、農場団体／生産者そして支払いの責任を持つ市場関係者の間で交渉を行い、大抵の場合はその支払いを第一バイヤーが負うことになります。これは生産者の持続可能な農業基準の農場要件を満たす為の努力と特定の活動に対して与えられる支払いという意図があり、当該基準において体現化された持続可能な生産手法の継続的な実行に対するインセンティブとなるものです。

サステナビリティ差額は生産者がより高い賃金で労働者を雇うことを可能にする役割についても担います。大規模農場では、労働者に直接利益をもたらす分野に対してサステナビリティ差額を費やすことが必要となるでしょう。分配方法の決定については、農場労働者の代表者と協議の場を持ち判断されます。

このアプローチをとる理由とは？

農業を生業としながら十分な生計を立てることは容易ではありません。作物や生産地にかかわらず、農業は気候や病害虫から資本や市場へのアクセスなど様々な不確定要素に左右されます。結果として、世界中どこであっても、ほんの少しでも生産環境が変化すると多くの生産者、とりわけ小規模農家は貧困ライン以下に追いやられることとなります。さらに悪いことに、多くのレインフォレスト・アライアンス認証生産者が依拠するグローバルサプライチェーンは構造的に不均衡です。生産者は価格、交易条件そして持続可能な生産に必要なとされる資源の交渉に対して無力である一方で、主要なリスク、法令遵守の責務、そして気候変動の影響などに耐えなければならないのです。

サステナビリティ投資

サステナビリティ投資とは、必須の現金投資または現物投資のことで、レインフォレスト・アライアンス認証製品のバイヤーから認証生産者に支払われ、持続可能な農業基準の農場要件を満たすことを支援するという明確な目的で行われます。

これらの投資形態には、生産者が農業基準において必須項目あるいは必須の改善項目の基準を満たすために必要な投資、そして認証にかかる費用（デジタル内部管理システムの実施や審査費用）について含みます。サステナビリティ投資は投資計画で生産者によって特定されたニーズに向けて行われるべきで、バイヤーは自らの投資について報告しなければなりません。



写真 Sydelle Willow Smith

認証の再構築では、生産者だけに持続可能な生産のための投資を負わせるモデルから脱却し、持続可能な生産のための責任がサプライチェーン全体で共有される新しいシステムを目指します。サステナブル差額とサステナブル投資により、企業にはサステナビリティの価格と投資、そして、より持続可能な生産の恩恵についての認知を促しています。なぜなら、より持続可能な生産は適正価格に値する良品なのです。認証作物の価格競争力を低下させる可能性がある定額作物価格を設定するよりも、私たちは体系的なアプローチを採用しています。これは自分自身のよき代弁者となるため、生産者が必要な投資支援を明確にするよう促すことでサプライチェーンにおける不平等や貧困の根本原因に取り組むことを目指しているからです。

従来の基準との違いは？

UTZ 農園管理基準では、農場団体が個々の生産者に対し直接現金による支払いを行うことと、サステナビリティ投資を義務化しています。しかし、2020認証プログラムと違い、UTZ 認証プログラムでは第一バイヤーから認証農場（多くの場合は農場団体管理者）への支払いのみが記録され、その先の各小規模認証生産者に支払いが届いているのかについての追跡はされていません。また当該プログラムでは、第一バイヤーからの現物出資についても記録されません。なお、レインフォレスト・アライアンス2017持続可能な農業基準では、義務化された支払いについては一切盛り込まれていません。

サステナビリティ差額の支払いとサステナビリティ投資が求めることは、これまでの両農業基準よりも新しいアプローチをより広範囲かつ明示的にすることです。将来すべての支払いについて追跡することで、透明性をさらに可能にし、生産者が認証作物の対して受領しているサステナビリティ差額とサステナビリティ投資のデータの取得が可能になります。つまり生産者とサプライチェーン関係者両方の手引きと情報を改良させていくことができるようになります。

この方式をサポートするその他レインフォレスト・アライアンスによる参画

生産者の収入の改善に関しては、農場管理者の専門化、生産性の改善、レジリエンスの向上、そして収入の多様化といったサプライチェーン関係者間で責任が共有されるものと同様に重要です。そのため、責任あるビジネスの実践の前進に加えて、認証、景観とコミュニティプログラムでは、より少ない資源でより多くの生産そして気候危機による影響への適用を可能にするより持続可能な農業手順について生産者を訓練しています。さらに私たちは生産者や地域の市民社会団体と共に政府や企業に影響を与え、より公正なサプライチェーンにつながる国内外の政策を制定するように働きかけます。

特定の農作物や国にのみ関係するの？

世界のサプライチェーンにおける不均衡については、コーヒーや茶類からカカオやバナナなど私たちの活動する全ての産業で程度の違いはありますが、確認されています。つまり、全ての活動領域で、より大きな責任の共有に向けた行動が急務であるということです。ただし、西アフリカのココア産業に至っては特に緊急を要します。そのため、新しい要件は別の産業や他国よりも前倒しで実施されます。

詳細について

詳細は「[2020認証プログラム](#)をご一読ください。
ご質問がある場合は、cs@ra.org までお問い合わせください。

レインフォレスト・アライアンス認証と2020認証プログラム

認証の再構築は私たちの将来の認証制度に対する長期的な使命です。そして、レインフォレスト・アライアンスの4つの主要活動領域を通じて変化を起こす為の、より広範囲におよぶ戦略の一部なのです。

2020年6月、私たちはレインフォレスト・アライアンス2020認証プログラムの発表と共にその認証の再構築に向けた道のりの一歩を踏み出します。私たちはレインフォレスト・アライアンスとUTZが合併した2018年より、この新しい認証プログラムについて取り組んできました。

2020持続可能な農業基準を含む2020認証プログラムは、認証が作用の仕方そして認証を使用する世界中の人々と企業に価値を提供する方法に真の変化を起こす、またとない好機です。

2020年6月から2021年中旬にかけて、レインフォレスト・アライアンスは世界中で包括的な研修計画を含む新しい認証プログラムを本格的に展開していきます。新しい認証システムに対する審査については2021年中頃より開始予定となります。

**RAINFOREST
ALLIANCE**

アメリカ:
125 Broad Street, 9th Floor
New York, NY 10004
tel: +1 (212) 677-1900
email: info@ra.org

オランダ:
De Ruyterkade 6
1013 AA, Amsterdam
tel: +31 20 530 8000
email: info@utz.org



Rainforest Alliance
@RnfrstAlliance
@rainforestalliance

RAINFOREST-ALLIANCE.ORG